



第40回定期大会発言に基づく申し入れ



提出!!

JR東労組は、6月21日に開催した第40回定期大会において、スローガンを含む運動方針について満場一致で確認しました。

大会では、16名の代議員から、一年以上つづくコロナ禍の中、安全・安定輸送の確保や安心の提供など日々職場で奮闘している現実や、安全に関する事象や各種施策における課題・問題点などの発言がありました。

「新たなジョブローテーションの実施」について労使議論を行ってきましたが、今もなお一部職場では、納得感なく働きがいをも低下させていると言わざるを得ない現実や、異動後における教育・訓練の課題も発生しています。また、「現業機関における柔軟な働き方の実現について」や「グループ会社における副業について」の提案・説明が行われましたが、これまでの施策等との整合性を疑問視する声があがっています。

さらに職場から「施策の説明が一方通行」「質問で求めた事に答えてもらえない」などのトップダウンと言わざるを得ない姿勢に対し、不信・不満の声や、「本当に安全がトッププライオリティとして位置づけられているのか」と安全に対して危惧する声があり強い危機感を持ちます。

JR東労組は組合員の雇用と利益を守る事を前提に、「安全・健康・ゆとり・働きがい」を掲げ、コロナ禍において激変する社会に対応すべく施策等について真正面から向き合っています。会社の発展を実現するためには、組合員・社員の力が必須であることは言うまでもありません。本部は職場から出された意見に基づき、しっかりと議論し、実現をめざしていきます。

1. JR東日本およびグループ会社・パートナー会社等で発生する事故・事象に対する原因究明を行い、同種事故の防止に向けた対策を講じ、命を守ることを最大の価値基軸に、安全第一の職場風土を構築すること。
2. 「変革2027を踏まえた新たなジョブローテーション」の実施から1年以上経過する中においても、未だに組合員の納得感が得られない事象や異動先での課題等も発生していることから、検証を行い、団体交渉等における労使確認事項を遵守すること。
3. 「ワンマン運転の拡大」に伴い、新たに実施したワンマン運転において発生している課題を把握し対策を講じること。
4. 新型コロナウイルス感染症対応に対する特別手当として、全従業員(出向者含む)対象に一律5万円を期末手当とは別途、支給すること。

**モチベーションの向上と安全第一で風通しのよい
働きがいある職場を組合員の声をもとにつくり出そう!**